



4階まで津波にのまれた県立高田病院
地盤沈下で水が引かず、海水のニオイが漂う(5月15日)



活動を終え、車に乗り込み帰路につく救護班
(3月15日午後10時)



避難所となったサンビレッジを巡回診療(3月16日)



ぬかるんだ山道を歩いて巡回診療へ(3月16日)



巡回診療先で問診する看護師(3月16日)



陸前高田第一中学校救護所での診察
(3月21日)



救護所で、患者さんの処方箋を調剤する薬剤師
(3月21日)



全国各地から支援に来た
保健及び医療関係者が
合同でミーティング



アメリカ・韓国・インドネシアの赤十字代表が視察
海外からの支援に感謝し、避難所を案内(4月27日)



救護所(保健室)前の廊下で受付(5月11日)



陸前高田第一中学校救護所での診察
(5月11日)



被災状況を話す被災者



救護所内で症状を聞き取る看護師



お薬手帳で薬を確認する看護師



症状を聞き取る助産師



陸前高田第一中学校で毎晩医療ミーティング



陸前高田市の職員も参加し情報を共有



高田一中敷地内に完成したプレハブ救護所
(6月24日)



陸前高田市立第一中学校 救護所閉所式(7月29日)
戸羽太市長と市民から感謝の言葉と花束を頂戴しました



日赤が撤収したプレハブを利用し、岩手県医師会が
診療所を開設（平成23年8月7日から週4日診療）